

# さらに使いやすく 適用拡大!

難防除害虫に効く  
**日曹 フテツ<sup>®</sup> フロアブル**



登録作物が多い!

幅広い害虫種に優れた効果  
同時防除に最適!

®=BASF社の登録商標

## ■適用害虫と使用方法

\*本剤及びクロルフェナビルを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍) または使用量	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	使用* 回数	使用方法
りんご	キンモンホンガ、ナミハダニ、ハマキムシ類、ミノガ類 ヨモギエダシャク、リンゴサビダニ	2000	200~700	収穫前日まで 収穫7日前まで 収穫60日前まで 収穫14日前まで	2回 3回 2回 3回 2回 3回 2回 3回 2回 3回	散布
もも	ミカンキイロアザミウマ	2000~4000				
ネクタリン	モモハモグリガ、カンザワハダニ、ナミハダニ、モモサビダニ、ウメシロカイガラムシ	2000				
おうとう	ミカンキイロアザミウマ	2000~4000				
ぶどう	ナミハダニ、カンザワハダニ、チャノキイロアザミウマ、オウトウショウジョウバエ、 ウメシロカイガラムシ	2000				
かき	チャノキイロアザミウマ、フタテンヒメヨコバイ、ミカンキイロアザミウマ、ブドウサビダニ、 ハマキムシ類	2000~4000				
なし	ナミハダニ、カンザワハダニ、二セナシサビダニ	2000~3000				
かんきつ	ヨモギエダシャク、チャノキイロアザミウマ	2000				
いちじく	ヨモギエダシャク、ハスモンヨトウ、リュウキュウミカンサビダニ、カネタタキ、スグリゾウムシ アザミウマ類(ネギアザミウマを除く)、チャノホコリダニ、ミカンサビダニ	2000~4000 2000~6000				
小粒核果類	ナミハダニ、カンザワハダニ、ウメシロカイガラムシ、イラガ類	2000				
キウフルーツ	キウヒメヨコバイ、コガネムシ類	2000				
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2000				
ゴレンシ	カンザワハダニ	2000				
ブルーベリー	イラガ類、オウトウショウジョウバエ	2000				
あずき	ハダニ類、ノメイガ類	2000				
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、実 えんどう、さやえんどう、さやい んげんを除く)	ハダニ類	2000				
えだまめ	ハダニ類、コフキゾウムシ	2000				
さやいんげん	ハダニ類、アズキノメイガ	2000				
実えんどう	ハダニ類、ハスモンヨトウ	2000				
さやえんどう	2000					
きゅうり	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類、ウリノメイガ、ウリハムシ	4000				
うり類(漬物用)	ミナミキイロアザミウマ、ハダニ類	4000				
すいか	ミナミキイロアザミウマ	4000				
にがうり かぼちや (日本かぼちゃ)	ハダニ類、オオタバコガ、ウリノメイガ	4000				
トマトマト	オオタバコガ、ミカンキイロアザミウマ、ナミハダニ、トマトサビダニ、トマトキバガ	4000				
なす	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、チャノホコリダニ、ハダニ類、 オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、テントウムシダマシ類	4000				
ピーマン とうがらし類 (しじとうを除く)	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、オオタバコガ、ハダニ類	4000				
しおとう	ヒラズハナアザミウマ	4000				
キャベツ	コナガ、アオムシ、タマナギンウバ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ、 オオタバコガ、ハイマダラノメイガ	2000	100~300	収穫3日前まで 収穫前日まで 収穫3日前まで 収穫14日前まで 収穫7日前まで 収穫3日前まで 収穫前日まで 収穫14日前まで 収穫7日前まで 収穫3日前まで	2回 3回 4回 2回 3回 4回 2回 1回 2回 1回	散布
ブロッコリー	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ	2000				
茎ブロッコリー	アオムシ	2000				
カリフラワー	コナガ	2000				
ザーサイ	コナガ	2000				
メリヤベツ	ハスモンヨトウ	2000				
非結球メリヤベツ コリアンダー(葉)	2000					
やなぎたで	2000					
なばな類	2000					
工桑イ	2000					
はくさい	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、カブラハバチ	2000				
非結球あぶらな科葉菜類 (こまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球メリヤベツを除く)	コナガ	2000				
チングンサイ	アオムシ、コナガ	2000				
非結球はくさい	アオムシ、コナガ、ハクサイダニ	2000				
こまつな	アオムシ、コナガ、ハクサイダニ	2000				
だいこん	アオムシ、コナガ、ダイコンサルハムシ	2000				

太字の個所は2024年3月27日現在、適用拡大事項。

# ■適用害虫と使用方法

\*本剤及びクロルフェナビルを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

## 総合版

曹 **フテツ** フロアブル

有効成分: クロルフェナビル…10.0% 毒性: 医薬用外劇物

殺虫剤分類 13

### △ 効果・葉害等の注意

● 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。

● ハウス等の常温煙霧に使用する場合は、以下のことについてください。

①専用の常温煙霧により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

②できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。

● ポリマー液と混用する場合は凝集があるので、本剤を調整した後にポリマー液と混合してください。

● ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないように散布してください。

● 敷設量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。

● 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないようには葉の表裏に十分に散布してください。

● きゅうり・なす・はくさい・だいこん・非結球あぶらな科葉菜類・なばね及びセリ芋の幼苗期に使用すると葉害を生じることがあるので注意してください。

● みずかけな(水掛菜)に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。

● ピーマン・とうがらし類に使用する場合、品種により葉に褐点などの葉害を生じることがあるので、予備散布により葉害のないことを確認してから散布してください。

● かき(刀根草など)の着色期の散布は葉害を生じるおそれがあるので注意してください。

● すいかに使用する場合、葉に葉害を生じることがありますが、その後の生育に対する影響は認められません。

● にがりの幼苗期には葉害を生じるので、定植前に使用しないでください。定植後のにがりに使用する場合、葉に灰褐色などの斑点の葉害を生じることがあるので、予備散布により葉害のないことを確認してから散布してください。

● 西洋かばちや(黒皮栗・青皮栗・えびす・雪化粧・みやこ・黒皮甘栗・栗味・栗マロン・芳香等)には葉害を生じるおそれがあるので、使用しないでください。

● ほうれんそうに使用する場合、葉に白化などの葉害を生じるおそれがあるので、必ず使用時期を守って使用してください。

● ぱら・食用ミニパラに本剤を初めて使用する場合は、事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。

● カーネーションへの散布は葉害を生じるおそれがあるのでさせてください。

● シクラメンに使用する場合、新葉に葉害を生じる場合があるため、葉害の出ないことを事前確認してから散布してください。

● カラー及び花はなに使用する場合は、湿潤状態で使用しないでください。また、使用後14日間は入水しないでください。

● 周辺の作物にかかると葉害を生じる場合があるので、かからないうなり十分注意して散布してください。

● 瓢に對して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

● ミツバチに對して影響があるので、以下のことに注意してください。

①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。

②愛粉促進を目的としてミツバチ等を放糞中の施設や果樹園等では使用をさせてください。

③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

④マルハナバチに對して影響があるので注意してください。

⑤本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。

○散布機種の散布基準に従って実施してください。

○散布機種に適合した散布装置を使用してください。

○散布中、葉液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。

○散布葉液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

○散布終了後は以下の注意事項を守ってください。

・使用後の空容器を放置せず、安全な場所に廃棄してください。

・使用残りの葉液が生じないように調製を行い、使いきつけてください。

・散布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、葉液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。

● 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

● 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

### △ 安全使用上の注意

● 医薬用外劇物、取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常にを感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。

● 敷設等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

● 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。

● 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に關係のない者が散布区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

● 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。盗難・紛失の際は警察に届け出してください。

※この資料は2024年4月現在の知見に基づき作成したもの。

作物名	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用量 (ℓ/10a)	使用時期	使用回数	使用方法	
かぶ	コナガ、ナモグリバエ、ヨトウムシ	2000	100~300	収穫前日まで	2回	散布 *1散布	
みょうが(花穂)	ハダニ類			*2花穂の収穫前日まで			
みょうが(茎葉)	ハダニ類、ハスマントウ、シクラメンホコリダニ、ミカンキイロアザミウマ			収穫前日まで			
いちご	シロイチモジトウ、ヒヨウタングウムシ類、ネギハモグリバエ、ネギゴガ			収穫7日前まで	1回		
オクラ	ハスマントウ、オオタバコガ			収穫前日まで			
レタス	ハスマントウ、オオタバコガ、ナモグリバエ、ヨトウムシ			収穫7日前まで			
モロヘイヤ	アザミウマ類			収穫前日まで			
あしたば	ウドノメイガ			収穫3日前まで			
やまのいも	カンザワハダニ、ナガイモコガ			収穫前日まで			
やまのいも(むかご)	ハスマントウ、ハダニ類			収穫前日まで			
かんしょ	ヨツモンカメノコハムシ、シロイチモジトウ	2000 ~4000	1.6	収穫前日まで	2回	*4散布	
はすいも(葉柄)	カンザワハダニ、ハスマントウ			収穫7日前まで			
さといも	ハダニ類、オオタバコガ、ハスマントウ、ジュウシホシクビナガハムシ、ヨトウムシ	2000	100~500	収穫3日前まで	2回	散布	
さといも(葉柄)	ハスマントウ			収穫前日まで			
アスパラガス	ハスマントウ、ヨトウムシ			収穫7日前まで	1回		
ふき	ハスマントウ、ハダニ類			収穫90日前まで			
ふき(ふきのとう)	ハスマントウ			収穫14日前まで			
てんさい	ヨトウムシ、ハダニ類、カメノコハムシ			収穫21日前まで			
セルリー	ヨトウムシ			収穫7日前まで	1回		
にんじん	ヨトウムシ、キアゲハ、ヒヨウタングウムシ類			収穫前日まで			
みつば	ハスマントウ			収穫14日前まで			
みしまさいこ				収穫21日前まで			
つるむらさき				収穫7日前まで			
しょうが				収穫前日まで	2回	*4散布	
葉っぱう				収穫7日前まで			
すいせんじな	ハダニ類、ヨトウムシ	2000	100~300	収穫前日まで	3回	散布	
よもぎ	ミナミキイロアザミウマ			収穫3日前まで			
葉にんにく				収穫14日前まで	1回		
つわぶき				収穫90日前まで			
とうき				親株養成期			
せんきゅう				但し、収穫90日前まで			
たらのき				根株養成期	3回		
はまぼうふう(葉)				但し、収穫75日前まで			
うど	シクラメンホコリダニ			2葉期まで	2回		
はうれんそう	ホウレンソウケナガコナダニ			但し、収穫14日前まで			
さんしょう(果実)	チャノキイロアザミウマ	2000	200~700	収穫7日前まで	2回	散布	
とうもろこし	ハダニ類、オオタバコガ、ツマジロクサヨトウ			収穫前日まで			
ヤングコーン				収穫3日前まで	1回		
飼料用とうもろこし(子実)				収穫14日前まで			
食用ブリムラ	ハスマントウ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ			収穫3日前まで			
食用金魚草				収穫14日前まで			
食用なでしこ				収穫3日前まで	2回		
食用エキザカム				収穫7日前まで			
食用せんにちこう				2葉期まで			
食用トレニア				収穫14日前まで			
食用パンジー							
食用ミニバラ							
なんてん(葉)	アザミウマ類	2000	200~400	摘採7日前まで	2回	*4散布	
茶	チャノミドリヒヨコバエ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ、チャノガサビダニ、チャノホコリダニ、シャクトリムシ類、チャノコカクモンハマキ、マダラカサハラムシ、チャトゲコナジミ			収穫前日まで			
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマ、ヨトウムシ類、ハダニ類、オオタバコガ、アワダチソウグンバイ			収穫3日前まで	1回		
きく(葉)				収穫7日前まで			
きく(葉)				発生初期			
ストック	コナガ、アオムシ、ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ			200~300	2回		
花き類・観葉植物(きく、ストックを除く)	ヨトウムシ類、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ			150~300			
しきみ	クスアナアキゾウムシ			200~700			
アザレア	チャノホコリダニ	2000	100~300	60 6~21	1回	散布	
みかん(温室・ガラス室等密閉できる場所)	ミカンキイロアザミウマ			10			
ぶどう(温室・ガラス室等密閉できる場所)	チャノキイロアザミウマ	2000	150ml/10a	150ml/6	1回	常温煙霧	
太字の個所は2024年3月27日現在、適用拡大事項。				収穫14日前まで			
*1花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する							
*2花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで *3但し、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで							
*4無人航空機による散布 *5 使用量							
＊水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川・養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。							
★ 使用前にはラベルをよく読んでください。 ★ ラベルの記載以外には使用しないでください。 ★ 小児の手の届くところには置かないでください。 ★ 防除日誌を記帳しましょう。							
★ 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。							



日本曹達株式会社  
〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号  
お問合せ (03)4212-9655  
(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容、  
SDSはこちら

NO.998-2404SA